文法

修飾語のはたらき 1

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

●修飾語とは

次の文は、主語と述語だけでできています。

主語 ねこが、 述語 鳴きました。

□の言葉をつけ足すと、文がくわしく、分かりやすくなります。

どんな 小さな ねこが、 どのように ニャアと 鳴きました。

このように、文をくわしくする言葉を**修飾語**といいます。

修飾語には、「どんな」「どのように」「どのくらい」「いつ」「どこで（の・を・へ・に）」「だれに（の・を）」「何を（の・に）」などを表す言葉があります。

文の中の
「何が(は)」「だれが(は)」に
当たる言葉を**主語**、
「どうした」「どんなだ」「なんだ」に
当たる言葉を**述語**というよ！

6
もんせいかい 問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル

1 次の文の中から、修飾語を一つずつ見つけて、線でかこみましょう。

① どんな 赤い 主語 花が、 述語 さきました。

② 主語 すずめが、 どのように パタパタと 述語 はばたく。

③ 主語 風船が、 どこに 空に 述語 うかぶ。

④ だれの わたしの 主語 妹は、 述語 三才です。

⑤ 主語 お母さんが、 何を 手紙を 述語 書く。

【修飾語の見つけ方】

❶まず、主語と述語を見つけましょう。
（主語と述語を続けて読むと、意味のわかる一つの文になります。）

赤い 主語 花が、 述語 さきました。

❷あまった言葉が修飾語です。

修飾語 赤い 主語 花が、 述語 さきました。

2 次の文に、修飾語をつけ足して、くわしくしましょう。

犬が、（「かわいい」「大きな」「白い」「ぼくの」など）（「ワンワンと」「はげしく」「庭で」「うれしそうに」など）ほえました。
（一つ以上書けていれば○）

文法

修飾語のはたらき 2

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

●修飾語がくわしくする言葉

右の文には、修飾語が三つあります。

大きな（修飾語1）鳥が（主語）、青い（修飾語2）空を（修飾語3）とぶ（述語）。

修飾語1の「大きな」は、主語の「鳥が」に係って、「鳥が」をくわしくしています。
修飾語2の「青い」は、修飾語3の「空を」に係って、「空を」をくわしくしています。
修飾語3の「空を」は、述語の「とぶ」に係って、「とぶ」をくわしくしています。
このように、修飾語は主語や述語だけでなく、別の修飾語に係ることもあります。

修飾語アが、言葉イをくわしくすることを「アがイに係る」というよ！

1 次の文の――線の修飾語がくわしくしている言葉に、～～～線を引きましょう。

① すずしい 風が、ふきました。

② ペンギンは、魚を 食べる。

③ うちの 犬は、広い 公園を さんぽします。

④ ぼくは、きのう 小学校の 校庭で 遊んだ。

【修飾語がくわしくしている言葉の見つけ方】
①の「すずしい」がくわしくしているのは、「風が」か、「ふきました」のどちらかです。
「すずしい」と続けて読んだときに、意味が分かる言葉を探しましょう。
すずしい 風が　↓意味が分かる
すずしい ふきました　↓意味が分からない
なので、「風が」をくわしくしていると分かります。

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① お父さんは、いそいで（どのように）駅に（どこに）行きました。

② 遠くから（どこから）かみなりの（何の）音が（主語）聞こえた。

③ 音楽の（何の）先生が（主語）、ピアノを（何を）しずかに（どのように）ひきます。

④ 小林商店（主語）は、学校の（何の）近くの（どこの）小さな（どんな）お店（述語）だ。

8
もんせいかい 問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル

文法

修飾語のはたらき 3

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

1 次の文の〰線の言葉をくわしくしている修飾語に、――線を引きましょう。

① 動物園の　ライオンが、　つめたい　水を　飲む。

② わたしの　弟の　ランドセルは、　新品です。

③ 同じ　クラスの　町田さんが、　学校を　休みました。

④ 木に　赤い　りんごが、　たくさん　実りました。

④の「木に」は、述語の「実りました」を修飾しています。主語よりも前にある言葉が、主語と述語のどちらを修飾しているのかまようときは、「赤い りんごが、たくさん（木に）実りました。」と、述語の前に言葉を移動してみましょう。意味が通っていれば、述語を修飾していると分かります。

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① きれいな　笛の　音が、　会場に　流れました。
（きれいな：どんな／笛の：何の／音が：主語／会場に：どこに／流れました：述語）

② 図書係の　木村くんが、　たなに　本を　ならべる。
（図書係の：何の／木村くんが：主語／たなに：どこに／本を：何を／ならべる：述語）

③ 小学校の　校長先生が、　ステージで　あいさつする。
（小学校の：何の／校長先生が：主語／ステージで：どこで／あいさつする：述語）

④ ぼくの　姉が、　自転車で　高校へ　行く。
（ぼくの：だれの／姉が：主語／自転車で：どのように／高校へ：どこへ／行く：述語）

3 次の文に、修飾語をつけ足して、くわしくしましょう。

① ロボットは、　動く。
「おもちゃの」「新しい」「はかせの」「青い」など
「すばやく」「カタカタと」「電池で」「ぎこちなく」など
（①、②とも、それぞれ一つ以上書けていれば○）

② おじいさんが、　わらいました。
「わたしの」「北海道の」「年取った」「元気な」など
「ハハハと」「にこにこ」「少し」「うれしそうに」など

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル

文法

修飾語のはたらき 4

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

1 次の文の（　）に入る修飾語を□から選んで書き入れましょう。

（　）の修飾語は〰の言葉をくわしくしています。

① （ まっ白い ）雪が、校庭に　たくさん　積もる。

② 畑の　作物が、（ ぐんぐん ）育ちました。

③ 色いろな（ 味の ）キャンディーが、お店に　ならぶ。

④ クロワッサンは、（ 三日月の ）形の　パンです。

⑤ （ わたしの ）おばあさんは、料理が　上手です。

わたしの　味の　まっ白い　三日月の　ぐんぐん

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① 何の 山の 上に、どこに 白い どんな お城が 主語 建ちました。 述語

② 何の 京都行きの 電車が、主語 駅の 何の ホームに どこに 着く。 述語

③ 何の ベッドの 横で どこで 目ざまし時計の 何の ベルが 主語 鳴る。 述語

④ ぼくは、主語 秋山さんの だれの 意見に 何に さんせいです。 述語

⑤ どこから 二階から 赤ちゃんの だれの 泣き声が 主語 聞こえる。 述語

⑥ どこの となりの 家の 何の 田中さんは、主語 動物の 何の お医者さんです。 述語

11
もんせいかい 問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル

文法

修飾語のはたらき 5

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

1 次の文の（　）に入る修飾語を□から選んで書き入れましょう。

（　）の修飾語は〰の言葉をくわしくしています。

① （古い）テレビが、とうとう　こわれた。

② 雲の（上を）ジャンボジェット機が　飛びます。

③ 列車の（まどから）青い　海が　見える。

④ ポメラニアンは　小さな（ふわふわの）犬です。

⑤ （お店に）おおぜいの　お客さんが　来る。

お店に　上を　ふわふわの　古い　まどから

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① 学校の（何の）花だんで（どこで）、赤い（どんな）チューリップが　さきました。（主語／述語）

② ぼくの（だれの）お母さんの（だれの）車は（主語）ピカピカの（どんな）新車だ。（述語）

③ 子ども部屋の（どこの）レースの（何の）カーテンが（主語）ゆらゆらと（どのように）ゆれる。（述語）

④ 三びきの（どんな）こぶたは（主語）、おおかみを（何を）たいじした。（述語）
「わたしは」などの主語を足して考える

⑤ 北海道の（どこの）おじいさんに（だれに）手紙を（何を）書きます。（述語）
「わたしは」などの主語を足して考える

⑥ 朝（いつ）、目玉焼き（何を）を　食べました。（述語）

⑤と⑥の文には、主語がありません。このように主語が省略された文には、「わたしは」「ぼくは」などの主語になる言葉を足してみると、修飾語を見つけやすくなります。

もっと練習したいときは、こちらの「修飾語」プリントを使いましょう。▼

11
問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル